

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	アライグマ・ハクビシン防除等事業				
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係	課長名 宮鍋 和志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。			施策番号	4 - 8	-
【施策名】 環境の保全			総合計画書 (ページ)	99	

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 6 環境衛生費	事業 1 害虫駆除等事業費
-----	---------	-----------	-----------	---------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	市民 →	人口 85,337人(平成31年4月1日時点)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] アライグマ・ハクビシン等の被害を減らす →	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) アライグマ・ハクビシン等に関する相談件数
③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)	
	捕獲わなを購入し、市民に貸出を行う。アライグマ・ハクビシンの生態等についてPRし、わなを設置した場合の見回りやエサの補充について、市民の協力を仰ぐ。 →	わな設置件数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	/	/
	成果指標	②の数値	件	51	70	/	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方	目撃、捕獲情報を踏まえ、場所、エサを工夫して効果的にわなを設置する。				
活動指標	③の数値		27	58	/	/	

3 経費	事業費(実績)		円	239,090	643,680	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	120,090	322,680	
		特定財源	円	119,000	321,000	
		(うち受益者負担)	円	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	3,301,200	3,297,600	
	職員人件費(再任用)	円	0	0		
	事業費+人件費	円	0	3,540,290	3,941,280	

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
	市内でアライグマ・ハクビシン等の痕跡、目撃情報、住宅等への侵入に関する相談が増加したため、これらの生活・農業被害対策として平成29年度より開始した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 相談件数は増加している。

仕 事 の 内 容	アライグマ・ハクビシン防除等事業				
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係	課長名 宮鍋 和志

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について	
	個人で業者に依頼すると高額な費用がかかるため、経済的に助かるという意見が市民より寄せられた。	

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容 目撃情報や被害状況に基づいてわなを設置しているが、捕獲できないこともある。エサや設置場所などの情報を積み重ねることにより、効果的な設置を行う必要がある。	
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 初年度に購入した捕獲わなの強度に問題があったため、より頑丈なわなを購入した。	
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 わなを壊して逃げることは無くなったが、捕獲率を上げるための更なる検討が必要。	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 作業は業者に委託しているが、目撃情報等の収集をより密にしていく。	
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 業者からの情報に頼らず、現場の状況を把握する。	
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	
	成果	経費
	成果を向上させる。	仕事の経費は維持する。